平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語5 (English 5) 【清水クラス】			授業コード	A027902
担当教員名	清水　孝子			科目ナンバリングコード	A30309
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	履修生はプレイスメントテスト(レベルチエックテスト)を受け、その結果に応じて決められた講義に出席する。課題(プロジェクト)に積極的に取り組む心構えのある学生が履修すること。英語1・2・3・4までを履修済みの学生が望ましい。				
受講心得	受け身の姿勢で授業に取り組むのではなく、課題にチャレンジするという積極的な姿勢が必要。				
教科書	随時、印刷物を配布し、テキストの代わりとします。必ずファイルしておくこと。				
参考文献及び指定図書	適宜指示します。				
関連科目	英語1、英語2、英語3、英語4、英語6				

授業の目的	本学の学位授与の方針に沿う適切なコミュニケーション能力を育成するために、3つのテーマについて英語でプレゼンテーションします。提示された題材に関して、英文で自己表現する。3コマを使い準備し、4コマ目で発表する。3分程度のスピーチ原稿を用意し、原稿を覚え、クラス内で発表できるようにします。最終目標は、「英語5」の他のクラスとの合同プレゼンテーションで発表できるように力をつけていきます。
授業の概要	「英語1～4」までに習得した英語表現を用いて、英語でのプレゼンテーションができることを目指す。平易な英語表現を用いたスピーチ原稿の作成、聴衆を意識した効果的な視聴覚資料の活用など、わかりやすい発表ができることを目的にする。そのための原稿作成の方法や、発表の方法なども随時指導する。3回のHOMEWORKで準備する。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： プレイスメントテスト	
第 2 週 ： コースの概要などの説明。コミュニケーション活動。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)
第 3 週 ： Self-Introduction(1) サンプルを見る、語彙・表現を学ぶ、原稿を書く。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)
第 4 週 ： Self-Introduction(2) 原稿を点検する、スライドを作成する。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)
第 5 週 ： Self-Introduction(3) 配布資料を作る、リハーサルを行う。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)
第 6 週 ： Self-Introduction(3) クラスプレゼンテーションと評価作業。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)
第 7 週 ： My Favorite City(1) サンプルを見る、語彙・表現を学ぶ、原稿を書く。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)
第 8 週 ： My Favorite City(2) 原稿を点検する、スライドを作成する。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)
第 9 週 ： My Favorite City(3)	復習：振り返り(1h)

配布資料を作る、リハーサルを行う。	予習：次週の課題準備(1h)
第10週： My Favorite City(4) クラスプレゼンテーションと評価作業。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)

第 11 週： My Favorites(1) サンプルを見る、語彙・表現を学ぶ、原稿を書く。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)
第 12 週： My Favorites(2) 原稿を点検する、スライドを作成する。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)
第 13 週： My Favorites(3) 配布資料を作る、リハーサルを行う。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)
第 14 週： My Favorites(4) クラスプレゼンテーションと評価作業。	復習：振り返り(1h) 予習：次週の課題準備(1h)
第 15 週： 最終合同プレゼンテーション〔合同クラスで実施） 各クラスから選ばれた学生による英語でのプレゼンテーション	予習：期末試験への準備 （3～5 hours）
第 16 週： 期末テスト（これまでの英語でのプレゼンテーションで学んだ知識の確認テスト）	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	自己表現をしようとする積極的態度を持つ。
【知識・理解】	英語での自己表現のための基本的な英語の知識を獲得する。
【技能・表現・コミュニケーション】	英語での自己表現する訓練をする。また、他の学生たちの発表を聴く訓練もする。
【思考・判断・創造】	英語という新しい言葉で自己表現をすることによって、異文化間コミュニケーション力も身につける

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**10点**	**30点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**25点**			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**10点**	**15点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**10点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法		評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	3つの課題についてまじめに取り組み、成果物として提出しているか、また授業目標を達成しているかに基づいて評価します。また、最後の確認テストで理解度を評価します。（20点×3＝60点、知識理解＝25点）	
発表・その他（無形成果）	授業に欠席したり遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。（15点）	